算数科　小学校　2年

単元名「かくれた数は　いくつ」

本時の目標
○テープ図に問題文の言葉を入れ、具体的数量関係を把握する。

単元の流れ

【第１時】
数図ブロックを操作して、数量の関係を表す。

【第２時】
数量の関係をブロック、帯図、テープ図に表して問題を解く。

【第３時】
数量の関係をテープ図にかき、問題を解く。

【第４時】
数量の関係をテープ図に表し、問題を解く。

【第５時】
既習事項の復習
評価問題
自己評価

本時の流れ

問題の把握
・問題の場面を理解し、たずねていることをつかむ。

【問題文】
子どもが　あつまって　います。あと４人　くると、30 人に　なります。
いま　なん人　いますか。
図をつかって考えましょう。

「わかっていること」「たずねていること」等児童に分かりやすい言葉で整理する。

本時のめあての把握
・前時を想起するとともに、本時のめあてを確認する。

【めあて】
図をかいてとき方を考えよう。

【めあての把握】
☆前時に学習した、「ブロック図」や「まる図」などいろいろな図をかいて考えさせる。図にはどのようなものがあるか、児童から意見を出させるようにする。

自力解決
・問題の場面を図で描きながら各自で問題を解く。

【自力解決】
☆各自の方法で自由に図を描かせ、数量関係をとらえさせる。
☆図が描けない児童には、絵で描かせたり、ブロックを操作させたりする。
☆図が描けている児童には、問題文の言葉や数を入れさせ、より図を具体化させる。

話合いによる集団解決
・テープ図のよさを確認する。

（発問）
どんな図をかいて考えましたか。
みんなに説明してみよう。

【話合い】
☆「ブロック図」・「まる図」など、様々な考えを、交流を通して、違いを認める態度を育成する。
☆テープ図のよさに気付かせ、全員が描けるようにする。

自力解決
・各自が適用問題を、テープ図を活用して解く。

（発問）
次の問題を、テープ図を使って解こう。

学習のまとめ
学びの振り返り

【学習のまとめ】
☆感想だけに留まらず、本時に学習したことや分かったこと、参考になった友達の意見などを書かせるようにする。

HOME
単元の流れへ
授業展開例へ